

ず

ん

だ

も

ち

『開催地実行委員会

からのご挨拶』

21・老福連の会員施設ならびに全国の皆様からの東日本大震災へのご支援に、心より御礼申し上げます。大震災・大津波、そして原発事故の三大災害に打ちひしがれている時、いち早く届いた21・老福連からの物的支援に、どんなに励まされたことか。また宮城野の里で開いた、家が流されたり浸水し居住できなくなった高齢者の皆様の「福祉避難所」も、皆様の人的支援がなければ続けることはできませんでした。まずは、言葉では言い尽くせぬ感謝の気持ちをお伝えしたいです。ありがとうございます。

実は正直なところをお話すれば、3月11日からの数日は、第11回職員研究交流集会は中止するしかないと考えていました。

しかし続々と届いた会員施設からの物的・人的支援に応えるためにも、この間の報告をしなければねらないと考えました。



宮城野の里
小野ともみ 実行委員長



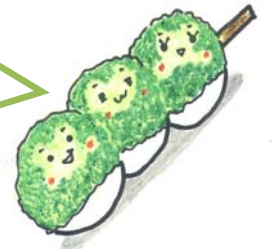
また、この大災害を教訓に

災害時の高齢者福祉施設がどうあるべきか、災害時だからこそ社会保障・社会福祉に求められるものは大きく、これをまとめ是非全国の皆様と話し合いたいと思うようになったのです。「生命の尊厳、人間としての幸せを今こそ」——この実現のために、少しでも前にすすむことができるようにすることが、被災地の施設の役割だろうと思に至りました。ただ仙台は、いまだ第11回職員研究交流集会の全体会場に予定した「萩ホール」等は、無期限の貸し出し不能になっていたり、現時点で仙台での準備ができかねる状況が続いています。とかみ共生苑から、山形での開催をとの話をいただき、急遽仙台開催ではなく山形開催にさせていただきました。



倉り干り号

- ① 委員長挨拶
- ② 会場について
- ③ I love 老福連
- ④ おまけ♪



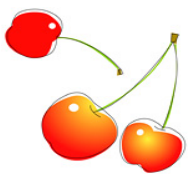
21・老福連

第11回職員研究交流集会実行委員会

広報担当 発行

介護保険法改正案が国会に上程されました。高齢者にとって使いやすい介護保険となるのか、介護を仕事としている私たちにとって報われる法改正になるのか、見つめ続け、言うべきことは言わねばなりません。大震災から3ヶ月経過した被災地は、ようやく復興の緒についたところですが、身内を亡くされ、家を失い、あるいは仕事を失った数万人の生命や生活の重みをしっかり受け止め、今後に活かしていくことが、私たち福祉に携わる者の使命だと思っております。第11回職員研究交流集会は、その思いを共有し語り合う場になりたいと考えます。

全国の皆様の参加を、心からお待ち申しあげます。



ホテル外観



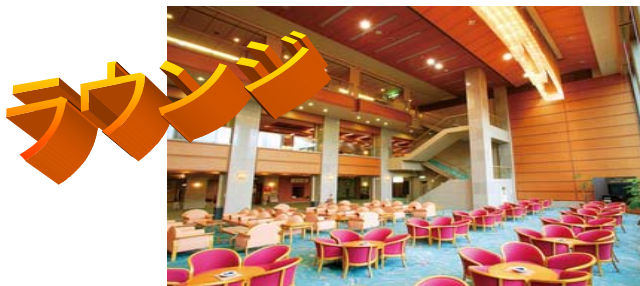
(会場案内は、「アクセス」の項をご覧ください。)

がついていきましょう！

2日間という熱き時間と、皆さんの熱い思いをぶつけあい、皆で盛り上げたいと思います。

今回は、当初開催を予定していた宮城県仙台市から、お隣の山形県天童市へ会場を移し、天童温泉「天童ホテル」を舞台に全体会・分科会を行います。さらに今回は交流会も同会場で行います。例年同様、各地の地酒を持ちより、飲んで歌っていっぱい語り合いたいです。

『山形へ来てけらっしやい！』



I love you baby 宮城・・・
I need you baby 山形・・・
I want you baby 東北・・・
東北が好き・・・♪
I love you baby 宮城・・・
I need you baby 山形・・・
東北が好き・・・♪

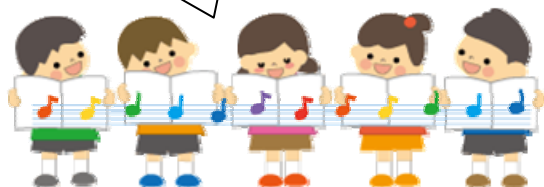
(‘猪苗代湖ズ’が歌う詩にのせて…)

『老福連の絆』

さて、実行委員会も回を重ね、徐々に日程表が整い始めました。

今回は苦渋の決断で2日間の開催という形をとらせていただきました。全体会では、東日本大震災の状況やその取り組みについて、全国の会員の皆様からの支援に感謝の思いを込めて報告するとともに、『平穩死のすすめ』の著者である石飛幸三先生の講演によって、今回のテーマでもある「生命の尊厳」について一緒に深めていきましょう。

また、最終日には、関西の若い人たちがオプショナル企画をたてて下さっています。それに並行した企画で、宮城の被災地に入り、粘り強く我慢も強い「東北」の大震災からの復興をそ



の目に焼き付けていたのだと思います。

ということ、東日本大震災に向けての応援ソングが全国で流れている中から、福島県ゆかりのアーティストが集結してできた「猪苗代湖ズ」がふるさとへの思いを素直に表現している歌に私たちも思いをのせて、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

おまけのコーナー

『ずんだもち』のヒミツ

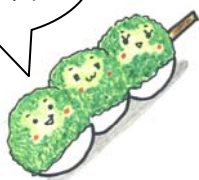


第11回職員研究交流集会のニュース名を、開催地である宮城県の名産品にちなんで、茹で枝豆を潰して砂糖を混ぜたずんだを餅にまぶした郷土菓子「ずんだもち」に決定しました。

しかし会場が変更となり、題名も変更せざるを得ないかと検討した結果、ずんだもちには南東北(宮城県・山形県・福島県)を中心にした地域郷土菓子であることから、題名は変えずに発行することができました。

このイメージキャラクター

には、まだ名前がありません。誰か名づけ親になって下さい！



どうぞよろしく！